



2023年9月期 決算短信〔日本基準〕(非連結)

2023年11月10日

上場会社名 株式会社コラントッテ 上場取引所 東
 コード番号 7792 URL <https://colantotte.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 小松 克巳
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役管理統括本部長 (氏名) 井阪 義昭 (TEL) 06-6258-7350
 定時株主総会開催予定日 2023年12月22日 配当支払開始予定日 2023年12月25日
 有価証券報告書提出予定日 2023年12月22日
 決算補足説明資料作成の有無 : 有
 決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・個人投資家向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2023年9月期の業績(2022年10月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益			
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%		
2023年9月期	5,406	15.9	1,017	6.9	1,027	7.6	645	5.7		
2022年9月期	4,663	24.3	951	47.2	955	51.9	610	45.2		
	1株当たり 当期純利益		潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益		自己資本 当期純利益率		総資産 経常利益率		売上高 営業利益率	
	円	銭	円	銭	%		%		%	
2023年9月期	71.84		70.63		21.5		22.9		18.8	
2022年9月期	68.37		66.84		24.5		24.8		20.4	

(参考) 持分法投資損益 2023年9月期 -百万円 2022年9月期 -百万円

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円	銭
2023年9月期	4,880		3,266		66.9		362.17	
2022年9月期	4,103		2,745		66.9		306.45	

(参考) 自己資本 2023年9月期 3,266百万円 2022年9月期 2,745百万円

(3) キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー		投資活動による キャッシュ・フロー		財務活動による キャッシュ・フロー		現金及び現金同等物 期末残高	
	百万円		百万円		百万円		百万円	
2023年9月期	955		△83		△410		1,790	
2022年9月期	148		△80		△274		1,328	

2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向	純資産 配当率	
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計				
2022年9月期	円	銭	円	銭	円	銭	百万円	%	%
2022年9月期	—	0.00	—	16.00	16.00	143	23.4	5.7	
2023年9月期	—	0.00	—	20.00	20.00	180	27.8	6.0	
2024年9月期(予想)	—	0.00	—	22.00	22.00		30.1		

3. 2024年9月期の業績予想(2023年10月1日～2024年9月30日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円	銭
第2四半期(累計)	2,700	△2.2	470	△28.9	470	△29.8	300	△32.6	33.27	
通期	5,500	1.7	1,060	4.2	1,060	3.1	660	2.3	73.19	

※ 注記事項

(1) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(2) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2023年9月期	9,018,100 株	2022年9月期	8,958,900 株
② 期末自己株式数	2023年9月期	42 株	2022年9月期	42 株
③ 期中平均株式数	2023年9月期	8,979,137 株	2022年9月期	8,928,147 株

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想の利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 経営成績等の概況（4）今後の見通し」をご覧ください。

（決算補足資料の入手方法について）

決算補足説明資料はT D n e tで同日開示しています。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	2
(1) 当期の経営成績の概況	2
(2) 当期の財政状態の概況	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況	3
(4) 今後の見通し	3
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方	3
3. 財務諸表及び主な注記	4
(1) 貸借対照表	4
(2) 損益計算書	6
(3) 株主資本等変動計算書	8
(4) キャッシュ・フロー計算書	9
(5) 財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(持分法損益等)	10
(セグメント情報)	10
(1株当たり情報)	10
(重要な後発事象)	10

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当事業年度における我が国経済は、新型コロナウイルス感染症の5類移行で行動制限が解除されるなか、景気は緩やかな回復傾向となりました。

当社が営んでいる事業につきましても、当社の強みであるスポーツ市場において市場環境の好転が見られたものの、エネルギー価格・原材料価格の高騰による物価上昇、欧米諸国等の金融引き締め政策による円安の進行等により、依然として先行きは不透明な状況が続いております。

このような経営環境のなか、「本気の実現の笑顔」という経営理念の下、社会的課題である「生活の質」＝QOL(Quality Of Life)の向上に貢献するための事業を展開し、社会的価値と同時に企業価値の向上に取り組んでおります。

当事業年度につきましては、新製品の市場投入や当社契約選手によるイベントの開催、また、SNS等を活用したマーケティング活動の強化、さらに人気アーティスト「THE RAMPAGE」を起用したテレビCM及びSNSへの発信など若い世代に向けた取り組みを強化し、認知度の向上に努めるとともに、主要取引先との関係強化と取引拡大等、営業活動の強化に取り組みました。

このような全社での経営強化策の下、ホールセール部門につきましては、インバウンドの増加や既存取引先から大口の受注があったこと等により、売上高は3,561,459千円(前期比8.5%増)となりました。

イーコマース部門につきましては、ワールド・ベースボール・クラシックによる当社契約選手の活躍や「THE RAMPAGE」を起用したテレビCM及びSNSへの発信などのマーケティング活動の強化による認知度向上が進み、国内での自社サイト及びECモールの自社店舗が好調に推移いたしました。また、越境ECにつきましては、新たに2023年6月に中国版TikTok(抖音)のECプラットフォームである「抖音電商全球購(Douyin EC Global)」に出店いたしました。以上の結果、売上高は1,401,381千円(前期比38.9%増)となりました。

リテール部門につきましては、行動制限が解除されたこと及びテレビCM効果やインバウンドの増加等により、来店客数が増加し堅調に推移いたしました。また、2023年6月には「たまプラーザテラス」(神奈川県横浜市)に新規出店いたしました結果、売上高は443,694千円(前期比19.6%増)となりました。

以上の結果、当事業年度の売上高につきましては、5,406,535千円(前期比15.9%増)となりました。利益面につきましては、原材料価格の高騰による物価の上昇や若い世代に向けた取り組みを強化した結果、営業利益は1,017,116千円(前期比6.9%増)、経常利益は1,027,987千円(前期比7.6%増)、当期純利益は645,017千円(前期比5.7%増)となりました。

なお、当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとみなせるため、セグメント別の記載を省略しております。

(2) 当期の財政状態の概況

(資産)

当事業年度末の流動資産は3,983,781千円となり、前事業年度末と比較して727,754千円増加いたしました。これは主に、売掛金が58,053千円減少した一方で、現金及び預金が449,545千円、電子記録債権が34,364千円、製品が49,987千円、仕掛品が85,886千円、原材料及び貯蔵品が158,518千円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定資産は896,580千円となり、前事業年度末と比較して48,705千円増加いたしました。これは主に、工具、器具及び備品が18,725千円、長期前払費用が9,744千円、繰延税金資産が25,358千円、それぞれ増加したことによるものであります。

以上の結果、当事業年度末の資産合計は4,880,362千円となり、前事業年度末と比較して776,460千円増加いたしました。

(負債)

当事業年度末の流動負債は1,609,855千円となり、前事業年度末と比較して407,692千円増加いたしました。これは主に、1年内償還予定の社債が35,000千円、1年内返済予定の長期借入金77,236千円、それぞれ減少した一方で、電子記録債務が333,375千円、買掛金が35,439千円、賞与引当金が21,924千円、株主優待引当金が15,316千円、その他流動負債が79,265千円、それぞれ増加したことによるものであります。

固定負債は4,469千円となり、前事業年度末と比較して151,803千円減少いたしました。これは主に、社債が132,500千円、長期借入金が22,500千円、それぞれ減少したことによるものであります。

以上の結果、当事業年度末の負債合計は1,614,324千円となり、前事業年度末と比較して255,888千円増加いたしました。

(純資産)

当事業年度末の純資産合計は3,266,037千円となり、前事業年度末と比較して520,572千円増加いたしました。これは主に、利益剰余金が501,676千円増加したことによるものであります。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当事業年度における現金及び現金同等物(以下「資金」という。)は、営業活動によるキャッシュ・フローが955,698千円の収入となったものの、投資活動によるキャッシュ・フローが83,802千円の支出、財務活動によるキャッシュ・フローが410,101千円の支出となったため、前事業年度末に比べ462,293千円増加し、当事業年度末には1,790,656千円となりました。

当事業年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は955,698千円(前事業年度は148,095千円の収入)となりました。これは主に、棚卸資産の増加額294,391千円、法人税等の支払額406,107千円があったものの、税引前当期純利益1,018,314千円、減価償却費85,762千円、仕入債務の増加額345,500千円等があったことによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果支出した資金は83,802千円(前事業年度は80,380千円の支出)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出79,126千円、無形固定資産の取得による支出9,236千円等があったことによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果支出した資金は410,101千円(前事業年度は274,230千円の支出)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出99,736千円、社債の償還による支出167,500千円、配当金の支払額143,051千円等があったことによるものであります。

(4) 今後の見通し

次期の見通しにつきましては、長期化するインフレを受けた消費の減退や急激な円安の進行など、厳しい経営環境が続くことが予想されております。その一方で、コロナ禍の収束による社会経済活動の正常化の動きは加速していくことが見込まれており、落ち込んでいたスポーツ関連市場の一層の回復や、海外観光客の増加によるインバウンドの拡大など、市場環境の改善も見込まれております。

このような状況のなか、2024年は「パリオリンピック」の開催が予定されており、スポーツ市場の盛り上がり期待され、当社といたしましても、マーケティング活動を一層強化し、ブランド認知度の向上や新規取引先の開拓、また越境ECでの販売強化にも積極的に取り組んでまいります。

以上により、売上高は5,500百万円(前期比1.7%増)を見込んでおります。利益面につきましては、2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)の出展に伴う先行費用等もあり、営業利益は1,060百万円(前期比4.2%増)、経常利益は1,060百万円(前期比3.1%増)、当期純利益は660百万円(前期比2.3%増)を見込んでおります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社は、財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準で財務諸表を作成する方針であります。

なお、国際財務報告基準(IFRS)の適用につきましては、国内同業他社の動向及び国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

3. 財務諸表及び主な注記

(1) 貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,340,200	1,789,745
受取手形	5,264	6,473
電子記録債権	175,565	209,930
売掛金	642,607	584,553
製品	573,049	623,036
仕掛品	244,214	330,100
原材料及び貯蔵品	152,364	310,882
前渡金	1,186	1,306
前払費用	35,023	42,006
その他	87,950	87,266
貸倒引当金	△1,399	△1,521
流動資産合計	3,256,026	3,983,781
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	324,250	327,886
構築物（純額）	67	33
車両運搬具（純額）	6,554	3,833
工具、器具及び備品（純額）	45,771	64,496
土地	265,821	265,821
リース資産（純額）	2,967	1,157
有形固定資産合計	645,432	663,228
無形固定資産		
特許権	4,940	—
商標権	23,349	15,566
ソフトウェア	16,963	18,947
その他	1,870	3,370
無形固定資産合計	47,123	37,884
投資その他の資産		
出資金	11	11
長期前払費用	1,096	10,841
繰延税金資産	108,930	134,289
その他	45,280	50,327
投資その他の資産合計	155,318	195,468
固定資産合計	847,874	896,580
資産合計	4,103,901	4,880,362

(単位：千円)

	前事業年度 (2022年9月30日)	当事業年度 (2023年9月30日)
負債の部		
流動負債		
電子記録債務	138,090	471,466
買掛金	183,697	219,136
1年内償還予定の社債	35,000	—
1年内返済予定の長期借入金	77,236	—
リース債務	1,970	803
未払金	228,709	237,335
未払費用	20,539	35,695
未払法人税等	251,139	244,195
預り金	11,571	25,979
賞与引当金	40,845	62,769
製品保証引当金	4,387	7,896
株主優待引当金	—	15,316
クーポン引当金	1,669	2,689
その他	207,306	286,571
流動負債合計	1,202,163	1,609,855
固定負債		
社債	132,500	—
長期借入金	22,500	—
リース債務	1,272	468
資産除去債務	—	4,000
固定負債合計	156,272	4,469
負債合計	1,358,436	1,614,324
純資産の部		
株主資本		
資本金	477,786	487,234
資本剰余金		
資本準備金	467,786	477,234
資本剰余金合計	467,786	477,234
利益剰余金		
その他利益剰余金		
別途積立金	37,500	37,500
繰越利益剰余金	1,762,423	2,264,099
利益剰余金合計	1,799,923	2,301,599
自己株式	△29	△29
株主資本合計	2,745,465	3,266,037
純資産合計	2,745,465	3,266,037
負債純資産合計	4,103,901	4,880,362

(2) 損益計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,663,759	5,406,535
売上原価		
製品期首棚卸高	355,672	573,049
当期製品製造原価	1,837,620	2,002,942
合計	2,193,292	2,575,991
製品期末棚卸高	573,049	623,036
製品売上原価	1,620,243	1,952,954
売上総利益	3,043,515	3,453,580
販売費及び一般管理費	2,092,229	2,436,464
営業利益	951,285	1,017,116
営業外収益		
受取利息	532	0
為替差益	1,527	539
助成金収入	2,580	28
受取手数料	829	672
受取和解金	—	10,000
その他	529	506
営業外収益合計	6,000	11,748
営業外費用		
支払利息	1,067	428
社債利息	345	292
その他	226	156
営業外費用合計	1,638	877
経常利益	955,647	1,027,987
特別利益		
固定資産売却益	970	—
特別利益合計	970	—
特別損失		
固定資産除却損	722	—
減損損失	11,735	9,673
特別損失合計	12,458	9,673
税引前当期純利益	944,160	1,018,314
法人税、住民税及び事業税	352,265	398,655
法人税等調整額	△18,560	△25,358
法人税等合計	333,705	373,296
当期純利益	610,454	645,017

製造原価明細書

区分	注記 番号	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)		当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)	
		金額(千円)	構成比 (%)	金額(千円)	構成比 (%)
I 材料費	※	764,899	39.1	1,359,265	65.1
II 労務費		77,804	4.0	91,076	4.4
III 経費		1,115,576	57.0	638,485	30.6
当期総製造費用		1,958,280	100.0	2,088,828	100.0
期首仕掛品棚卸高		123,554		244,214	
合計		2,081,834		2,333,042	
期末仕掛品棚卸高		244,214		330,100	
当期製品製造原価		1,837,620		2,002,942	

原価計算の方法

原価計算の方法は、組別総合原価計算を採用しております。

(注)※ 主な内訳は次のとおりであります。

項目	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
外注加工費(千円)	1,061,065	595,068
減価償却費(千円)	33,270	36,597

(3) 株主資本等変動計算書

前事業年度(自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本 合計
		資本 準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計			
				別途 積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	476,785	466,785	466,785	37,500	1,259,038	1,296,538	—	2,240,108	2,240,108
当期変動額									
新株の発行(新株予 約権の行使)	1,001	1,001	1,001					2,002	2,002
剰余金の配当					△107,070	△107,070		△107,070	△107,070
当期純利益					610,454	610,454		610,454	610,454
自己株式の取得							△29	△29	△29
当期変動額合計	1,001	1,001	1,001	—	503,384	503,384	△29	505,356	505,356
当期末残高	477,786	467,786	467,786	37,500	1,762,423	1,799,923	△29	2,745,465	2,745,465

当事業年度(自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)

(単位：千円)

	株主資本							純資産 合計	
	資本金	資本剰余金		利益剰余金			自己株式		株主資本 合計
		資本 準備金	資本剰余金 合計	その他利益剰余金		利益剰余金 合計			
				別途 積立金	繰越利益 剰余金				
当期首残高	477,786	467,786	467,786	37,500	1,762,423	1,799,923	△29	2,745,465	2,745,465
当期変動額									
新株の発行(新株予 約権の行使)	1,078	1,078	1,078					2,156	2,156
新株の発行(譲渡制 限付株式報酬)	8,370	8,370	8,370					16,740	16,740
剰余金の配当					△143,341	△143,341		△143,341	△143,341
当期純利益					645,017	645,017		645,017	645,017
当期変動額合計	9,448	9,448	9,448	—	501,676	501,676	—	520,572	520,572
当期末残高	487,234	477,234	477,234	37,500	2,264,099	2,301,599	△29	3,266,037	3,266,037

(4) キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前当期純利益	944,160	1,018,314
減価償却費	78,698	85,762
減損損失	11,735	9,673
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	1,215	121
賞与引当金の増減額 (△は減少)	3,821	21,924
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△1,357	3,508
クーポン引当金の増減額 (△は減少)	1,669	1,020
受取利息	△532	△0
支払利息及び社債利息	1,412	721
助成金収入	△2,580	△28
為替差損益 (△は益)	△1,172	△571
有形固定資産除却損	722	—
有形固定資産売却損益 (△は益)	△970	—
売上債権の増減額 (△は増加)	△209,526	22,479
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△379,246	△294,391
仕入債務の増減額 (△は減少)	58,143	345,500
株主優待引当金の増減額 (△は減少)	—	15,316
受取和解金	—	△10,000
未払金の増減額 (△は減少)	△29,232	1,196
その他	△58,874	132,100
小計	418,084	1,352,646
利息の受取額	532	0
利息の支払額	△1,486	△869
助成金の受取額	2,580	28
法人税等の支払額	△271,616	△406,107
和解金の受取額	—	10,000
営業活動によるキャッシュ・フロー	148,095	955,698
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△68,387	△79,126
有形固定資産の売却による収入	1,242	—
無形固定資産の取得による支出	△4,227	△9,236
定期預金の払戻による収入	—	12,011
差入保証金の差入による支出	△4,327	△5,570
その他	△4,680	△1,880
投資活動によるキャッシュ・フロー	△80,380	△83,802
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△132,388	△99,736
社債の償還による支出	△35,000	△167,500
新株予約権の行使による株式の発行による収入	2,002	2,156
自己株式の取得による支出	△29	—
配当金の支払額	△106,844	△143,051
リース債務の返済による支出	△1,970	△1,970
財務活動によるキャッシュ・フロー	△274,230	△410,101
現金及び現金同等物に係る換算差額	854	498
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△205,661	462,293
現金及び現金同等物の期首残高	1,534,024	1,328,363
現金及び現金同等物の期末残高	1,328,363	1,790,656

(5) 財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(持分法損益等)

当社は関連会社を有していないため、該当事項はありません。

(セグメント情報)

当社は、コラントッテ事業とCSS事業を営んでおりますが、コラントッテ事業以外のセグメントは重要性が乏しく、コラントッテ事業の単一セグメントとみなせるため、記載を省略しております。

(1株当たり情報)

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり純資産額	306.45円	362.17円
1株当たり当期純利益	68.37円	71.84円
潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	66.84円	70.63円

(注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎並びに潜在株式調整後1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前事業年度 (自 2021年10月1日 至 2022年9月30日)	当事業年度 (自 2022年10月1日 至 2023年9月30日)
1株当たり当期純利益		
当期純利益(千円)	610,454	645,017
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る当期純利益(千円)	610,454	645,017
普通株式の期中平均株式数(株)	8,928,147	8,979,137
潜在株式調整後1株当たり当期純利益		
当期純利益調整額(千円)	—	—
普通株式増加数(株)	205,082	153,827
(うち新株予約権(株))	(205,082)	(153,827)
希薄化効果を有しないため、潜在株式調整後1株当たり 当期純利益の算定に含めなかった潜在株式の概要	—	—

(重要な後発事象)

該当事項はありません。